

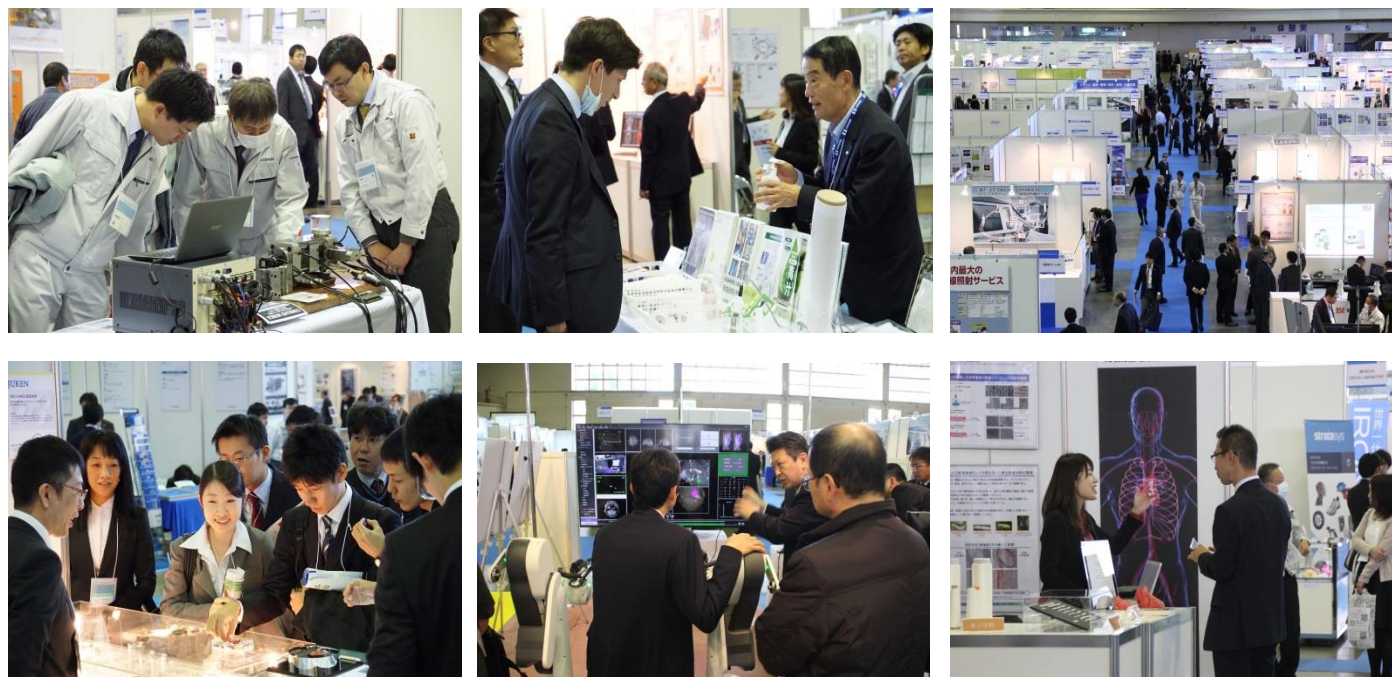
「第4回メディカルメッセ」開催報告

名称	医療×モノづくり技術の展示商談会 「第4回メディカルメッセ」
テーマ	医療に活かそう 中部のモノづくり
日時	平成29年12月6日(水) 13:00~17:00 7日(木) 10:00~17:00
場所	名古屋市中企業振興会館 吹上ホール
主催	愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所、中部医療機器工業協会、中部先端医療開発円環コンソーシアム、メディカル・デバイス産業振興協議会
特別協力	経済産業省中部経済産業局、岐阜県、三重県
同時開催	平成29年度 中部地区 医療・バイオ系シーズ発表会 PMDA レギュラトリーサイエンス総合相談(医療機器) 出張面談 in 名古屋
参加企業	155企業・団体 (第3回: 140社・団体)
来場者数	3,961名 (第3回: 3,739名)

【主要プログラム】

展示・商談会

「医療関係者や研究者」(医療現場のニーズを提案)、「医療機器メーカー」(医療機器を開発・推進)、そして「モノづくり企業」(医療機器メーカー等に製品・技術の提供を目指す)という3つのカテゴリのプレイヤーが一堂に会し、自らが有する医療ニーズと技術シーズの展示PRを行った。
また、上記3つのカテゴリのプレイヤーが参加した事前調整型商談会では、会期中に計109件のマッチングが行われた。



開会式・併設イベント (一部抜粋)

○開会式 (主な出席者)
小林副会頭、松尾名古屋大学総長、筒井メディカル・デバイス産業振興協議会理事・幹事長/東海メディカルプロダクツ会長、井上中部医療機器工業協会会長/富士石膏代表取締役社長、富吉中部経済産業局局長 ほか

○医療現場ニーズ発表会
以下の医療関係機関等が現場で有する改善・開発ニーズを発表した。
【発表機関等】名古屋大学(中部地区医療・バイオ系シーズ発表会)、愛知県臨床工学技士会、愛知県心身障害者コロニー、あいち小児保健医療総合センター、名古屋市立大学病院医療デザイン研究センター



○開会式 (小林副会頭)

○医療機器を学ぼう! 「見て! 触って! 現場の医療機器!」
医療現場で使用される様々な機器を展示し、実際に操作・体感するコーナーを設け、医療機器への一層の理解を促した。また、医療機器の操作・管理を担う臨床工学技士から医療機器の開発・改善ニーズを集め、モノづくり企業との新たな機器開発のきっかけ作りを図った。

○最新動向セミナー

①医療現場で活躍する最新デバイス・技術セミナー
～ 脳血管内治療について～
愛知医科大学 脳血管内治療センター 部長 宮地 茂 先生

②医療分野におけるデータサイエンスの利活用について
滋賀大学 データサイエンス教育研究センター長/
データサイエンス学部長 竹村 彰通 先生

③世界におけるヘルスケアITの標準化動向と課題
PCHAAllianceによるコネクテッドヘルスへの取組
PCHAAlliance(Personal Connected Health Alliance)日本地域委員会
代表 田上 信介 氏、政策分科会委員長 大竹 正規 氏



○開会式 (松尾名古屋大学総長)

○愛知県 先端医療機器シンポジウム

スマート治療室 SCOT ～ IoTが起こす治療イノベーション～
東京女子医科大学 先端生命医学研究所 教授 村垣 喜浩 先生
株式会社デンソー 新事業推進部 メディカル事業室長 奥田 英樹 氏



○医療現場ニーズ発表会

○企業ブースツアー

大学・アカデミア・医療機器メーカーの方々がツアー形式で出展企業のブースを訪問(2日間で計50名程度の参加者)。モノづくり企業からのショートプレゼンを通じて活発な情報や意見の交換を行った。



○見て! 触って! 現場の医療機器!



○臨床工学技士による解説



○企業ブースツアー

【次回開催について】

次回は2019年4月に、名古屋にて24年ぶりに開催される「第30回日本医学会総会2019 中部」との同時開催を予定。約3万人の医療関係者が集まる機会に、当地域のモノづくりや医工連携の取組をアピールしたい。